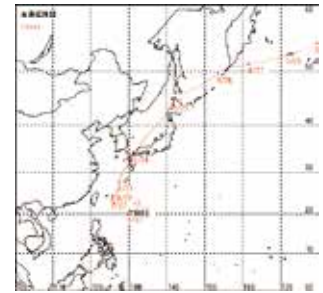
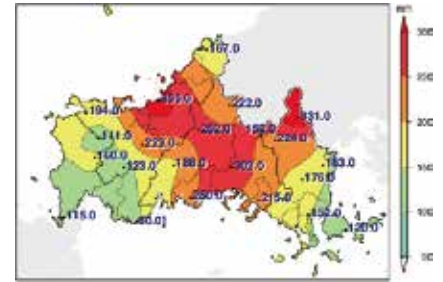




山口宇部空港駐車場



台風経路図



総降水量分布図



山口宇部空港



高潮(宇部市内)



宇佐川(錦町河本)

気象の概要	■ 台風第18号は、24日6時頃、中型で強い勢力を保ったまま熊本県北部に上陸した。九州北部を横断し、周防灘へ抜けた後、24日9時前に宇部市付近に再上陸した。 ■ その後、台風は山口市付近を通過、24日10時頃に島根県益田市付近を日本海へ抜けた。					
	最低気圧(hPa)	962.6(下関)	最大風速(m/s)	20.2(山口)	最大瞬間風速(m/s)	46.4(山口)
	総降水量(mm)	355.0(萩)	日降水量(mm)	255.0(萩)	1時間降水量(mm)	93.0(萩)
被災場所	県内全域					
被害の規模	(人的被害)死者3人、重傷者25人、軽傷者154人 (住家被害)全壊80棟、半壊1,284棟、一部破損10,741棟、床上浸水2,468棟、床下浸水7,372棟 (その他被害)道路401ヶ所、河川394ヶ所、被害船舶527隻 など <被害額総計>約415億円					
被害の特徴	■ 山口県は全域が暴風域に入り、各地に暴風雨による被害が発生した。また、台風上陸が大潮の満潮と重なったことから、瀬戸内海沿岸で記録的な高潮となった。 ■ 県東部を中心に1時間雨量が60mm以上を記録する豪雨となり、特に錦町(旧岩国市)では錦川やその支流の宇佐川が氾濫し、家屋の全半壊など多大な被害をもたらした。 ■ 台風が上陸した24日、山口宇部空港沖側の防潮堤の一部が倒壊、滑走路は完全に冠水し、空港ターミナルビルが1.2mほど海水に浸かった。					



台風の接近と大潮の満潮が重なったため、瀬戸内海沿岸で記録的な高潮になったんだ。
 台風が接近すると、強い風が海水を吹き寄せ、また、海面が吸い上げられ、高潮になるんだ。
 大潮の満潮と台風の接近が重なると、高潮による浸水のおそれが高くなるんだよ。

体験談

『台風通過の全国ニュース、地元の状況分からず ～避難勧告の空振り「最高」～』

宇部市 女性

もちろんテレビは朝からつけっぱなしにしていたのですが、ニュースじゃ台風が通過しているということだけでね。自分の意識がなかったのかもしれないけど、当時、避難勧告とかはなかったような気がするんです。

10年も前ですから、今と違って、ニュースで言っているよりも台風が先に来ることもあったし、気象情報でも放送局がある山口の天気は言っても、宇部の情報はなかったように思います。

だけど、あの時、台風がどういう経路で動くかというのは知っていたわけだし、自分の住んでいる地域を通るというのは少なくとも知っていたわけだから、自分が悪いということは間違いないんですよ。まさしくど真ん中を通ると知っていて、避難しなかったのだから。

今は違いますよ。「情報は待っていたらだめ。自分で積極的に取りに行く」というのと、周りが何と言おうと避難勧告が出たら家にはいないということです。もう、水が押し寄せてきたら、避難なんてできないんですよ。だから避難勧告には絶対に応じないといけないと思います。避難勧告が空振りに終わればラッキー。「空振りばんざい、最高」です。

内閣府『1日前プロジェクト』より転載



高潮(宇部市内)

体験談

『災害時にも必要だった女性の視点』

宇部市 女性

被害にあったおばあちゃんのところへ、ボランティアの方へやと来てもらったんです。でも、そのおばあちゃんも、結局見てもらいたくないものがあるのか、「女性のボランティアの人に来てほしい」と、こう言われたんです。

で、市のほうに行ったら、女性のボランティアの人は今はおらんと言う。仕方がないので、市の福祉課に電話して、「ばあちゃんが困っているけん、相談相手になってくれんかね」とお願いしました。

やっぱり女性の視点が要るとするのは、今どこでも教えられていますよね。部屋の押し入れを片づけてもらう時にも、女性の物や何かがあるから男性では困る。だからと言って、女性の力ではモノを運びきれないという矛盾がありました。

また、災害で避難した女性が着替えをする場所を確保するとか、女性への配慮が必要だということもこれから啓発して欲しいと思っています。

内閣府『1日前プロジェクト』より転載



山口大学医学部

トピックス

— ハザードマップ —

各市町では、災害が発生したときに被害が及びそうな場所を「ハザードマップ」として地図に示しているんだ。

洪水、高潮、土砂災害、ため池などのハザードマップがあり、各市町で見ることや入手することができるよ。市町ホームページでも公開されているから、確認してみよう。

